



風力発電の環境アセスメント 事前コンサルティングサービス（無償）

事業地の特性に合わせて環境アセスメント実施前に、環境リスクとなる項目を整理・抽出し、環境側面から無償でコンサルティングします。

無償コンサルティングサービス内容

風力発電事業計画段階において事業地周辺の環境アセスメント上の影響項目を把握することで、早期に配置計画等の検討が可能となります。これにより、事前の環境リスクの低減や、効率的な環境アセスメントが実現できます。

日本気象協会では以下のような無償コンサルティングサービスを実施しています。

- 事業地周辺の環境リスクの公開情報の収集
- 環境リスクの当協会の知見とネットワークを駆使した情報収集
- 地域特性を考慮した環境側面からの事業計画への提案
- 事業特性に合わせた効率的なアセスメント手続きの提案

風力発電事業における環境アセスメント上の影響項目の例

- 自然公園の指定地
- 鳥獣保護区（特別保護地区）
- 特定植物群落や自然植生
- 希少猛禽類生息地
- 重要無線電波伝搬路、テレビ電波
- 国有林・保護林・緑の回廊など
- 居住地
- このほか、法令指定地等



▲希少猛禽類であるクマタカ

事業地周辺における
影響項目の情報整理



環境側面からの提案



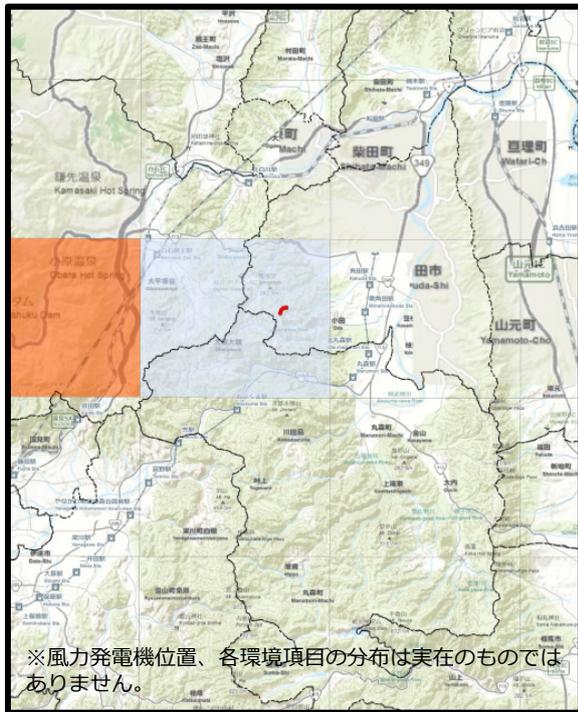
効率的な環境アセスメントの実現

▲無償コンサルティングサービスの流れ

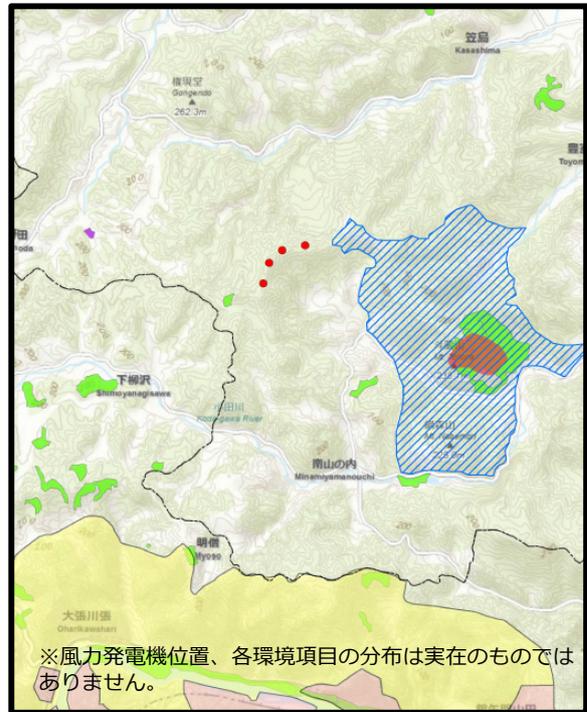
無償コンサルティングサービスの検討例

以下の検討例では、風力発電機設置予定域が鳥獣保護区や自然公園と重複していない一方で、イヌワシ生息地確認メッシュ「一時滞在」域に存在していることがわかります。このことから、環境アセスメントではイヌワシ生息環境への影響を特に考慮する必要があることを事前に把握できます。

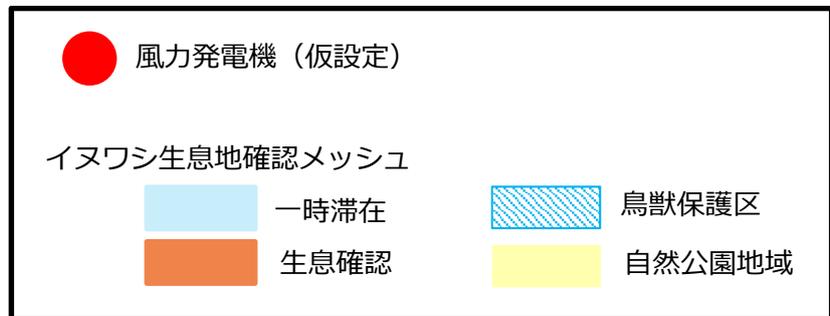
このような既存情報から得られる情報を元に、知見を踏まえた対応策を無償で提案します。



▲イヌワシ生息地メッシュ



▲自然公園、鳥獣保護区等



▲凡例

